

《第2回》

織田記念国際シンポジウム

The 2nd Oda Memorial International Symposium

会場：(独)国立国際医療研究センター5F 大会議場

(交通アクセス)●都営地下鉄 大江戸線 若松河田駅から徒歩5分 ●東京メトロ 東西線 早稲田駅から徒歩10分
●JR新大久保・大久保駅から【飯62】都営飯田橋駅行バス、【橋63】新橋駅行バスで国立国際医療研究センター前下車

日時：平成25年11月15日(金) 13:00~17:55

入場
無料

エイズなき世代に向けて

第2部

15:45~17:15

「治療の現状と今後の方向性」

座長：俣野 哲朗 国立感染症研究所エイズ研究センター
高折 晃史 京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

●アジアの中の日本：現状と今後の問題

岡 慎一

(独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター長

●日本と世界における薬剤耐性

杉浦 互

(独)国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター感染・免疫部 部長

●HIV感染者とAging

湯永 博之

(独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター治療開発室長

第3部

17:15~17:45

総合討論

座長：満屋 裕明

(独)国立国際医療研究センター 臨床研究センター長

岡 慎一

(独)国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター長

閉会挨拶

17:45~17:55

中村 利孝

(独)国立国際医療研究センター 病院長

総合司会

満屋 裕明

(独)国立国際医療研究センター 臨床研究センター長

開会挨拶

13:00~13:10

春日 雅人

(独)国立国際医療研究センター総長

基調講演

13:10~13:30

「HIV/AIDSを更に追いつめる」

満屋 裕明

(独)国立国際医療研究センター 臨床研究センター長

第1部

13:30~15:30

「AIDS-free generation に向けて」

座長：松下 修三 熊本大学エイズ研究センター
池上千寿子 NPO法人プレイス東京

●Science and Serendipity in Antiviral Drug Discovery

Prof. Raymond F.Schinazi

VA Medical Center & Emory Univ Sch Med, Atlanta, GA, USA

●HIV Latency: The challenge of a cure

Prof. Douglas. D. Richman

VA San Diego Healthcare Syst & UC San Diego, La Jolla, CA, USA

●Preventing vertical transmission of HIV and congenital syphilis: Dual elimination in Asia?

Dr. Ying-Ru Lo

Team Leader, HIV & STI Division, WPRO

主催



独立行政法人 国立国際医療研究センター

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 TEL:03-3202-7181(代表) FAX:03-3207-1038 <http://www.ncgm.go.jp/>